

心の風景

174



移動性高気圧に覆われた日に、空の比較的低い位置に発生することが多く、その形から綿雲とも呼ばれます。一面に広がる田んぼの緑と調和して、私たちに、そんなもののこの夏を思い出すさせます。

(瀬田)



表紙の人

田口公平さん

(ア-ラ 音楽ロフトにて)

夏の風物詩として、日本三大盆踊りの一つに数えられる阿波おどり。二拍子を刻むにぎやかな鐘や三味線、太鼓の音と勇壮な踊りの様子が浮かんできます。

腰を落として豪快な男踊りを披露する田口さんは、「連」と呼ばれる阿波おどりのグループ、「若あゆ連」の連長。先導を務めながら、彼に続く仲間をまとめます。「ヤットサー」と号令を掛けると、後ろから返ってくる「ヤットヤット」の掛け声。「その一体感がたまらない」と、日に焼けた顔から笑みがこぼれます。

「若あゆ連」が結成されたのは8年前。市内の仲間が仲間を呼び、今では40人を超えるほどの連が出来上がりました。月に3回姫治公民館を練習の場として、みんなで踊りの技を磨いています。

季節を問わず、市内各所で開かれるイベントに参加しつつ、福祉施設への慰問にも出掛けます。「手をたたいて喜んで下さる観衆の皆さんの笑顔が最高」と、次の本番に向け練習にも一層熱が入ります。

広報かに No.650 2009年8月1日号

編集・発行／可児市役所 〒509-0292 岐阜県可児市広見一丁目1番地
☎(0574) 621111 FAX (0574) 610345 URL <http://www.city.kani.lg.jp/>

市の人口 102,433人(男/50,831人 女/51,602人) 世帯数 38,349世帯(7月1日現在)
(前月より167人減・50世帯減、昨年同月より859人減・40世帯増)



広報かには再生紙を使用しています。
大豆油インキで印刷されています。